事業仕分け対象事業候補　市民投票結果集計表

資料3

	No.	委員会選定No.	事務事業名	事務事業の内容	総事業費（千円）	課名	委員選定理由	投票数	投票者意見
	1	78	安城七夕まつり支援事業	安城七夕まつり協賛会へ補助金を交付します。商業者と市民が協働で取り組む体制づくりを進めるとともに、飾り付けに電飾を取り入れるなど、新たな魅力づくりに取り組みます。協賛会の実行委員会には、総務・装飾・事業・宣伝・市民の5つの部会があり、職員もその部会で活動します。	62,456	商工課	安城七夕まつりは重要な観光資源であり、常に新しい魅力を取り入れて活性化を図ることが必要である。補助金の交付も含め、活性化のための支援は適切か。	10	・七夕まつりは安城市最大のイベントであり、よいものは絶対になくしてはいけない。さらなる魅力開発のために必要。 ・全国3大七夕とはいえ、他県からの認知度は低い。祭りを盛り上げる必要性に疑問。 ・七夕まつり行事を見直して。 ・人を集めるPRすることは安城市のプラスになる。 ・商店街の中からの商店街以外の住民の方が迷惑そうだった。 ・市外へのPRの方法がお金をかけている割には全く機能していない。どの分野においても思い切りのなさが目立つ。あと、客を集めるだけでなく、内容の充実に重点を置くべき。それらが出来ないのなら、この事業は1／10縮小または廃止すべき。
※	2	34	高齢者デイサービス事業	建物保険や一般庁用器具等の購入	15,847	社会福祉課	予防・支援内容の類似もあり、横の連携を取り合っているか、又は統合の視点があっているか。	8	・高齢者の増加に伴い有効な方法を考慮 ・是非もっと力を入れてほしい。 ・高齢者で健康の人も見てほしい元気な高齢者もサービスを受けているという話を聞く。 ・拡大
	3	15	町内公民館活動支援事業	地域における生涯学習活動を充実させるために町内公民館活動を支援し、各町内公民館活動に対し補助金を交付します。町内公民館活動推進モデル地区を指定し、公民館活動の充実を図ります。	13,819	市民協働課	生涯学習課の活動に組み入れて町内会への助成金を廃止したらどうか。	7	・金額が高額 ・公民館の利用は、全世代にとって重要。充実した数を誇る公民館をさらに有効活用することは大切。 ・拡充 ・行事の中身より.金を貰う事を目的としているような所（町内）があるよな気がする為

※は、市選定事業の担当課です。

事業仕分け対象事業候補　市民投票結果集計表

資料3

	No.	委員会選定No.	事務事業名	事務事業の内容	総事業費（千円）	課名	委員選定理由	投票数	投票者意見
※	4	36	一般高齢者給食サービス事業	調理が困難な者であって、65歳以上のひとり暮らし、70歳以上の高齢者世帯に属する方、65歳以上の高齢者世帯に属する方、日中に65歳以上の高齢者がひとりとなる世帯、又は70歳以上の高齢者のみとなる世帯、特定高齢者で栄養改善の必要がある方に週3回以内でお昼の給食を弁当業者が配達し、利用者の栄養改善と安否確認を行う。	40,286	社会福祉課	・給食宅配業者が、高齢者の見守り事業の一環となるので、乳酸菌飲料配達と併せ、一層拡充を目指していきたい。	7	・高齢者の増加に伴い有効な方法を考慮 ・是非もっと力を入れてほしい。 ・拡大 ・ひとり暮らし世帯・高齢者世帯への「宅配」の頻度が増加すると、当事者の外出頻度が低下し、成果目標である「自立」の達成が困難になるのでは、と危惧される。事業提供の頻度・利用者の見直し・見極めを行なうことが必要なのでは、と思う。
	5	116	桜井施設整備事業	安城市の南部地域の拠点として碧海桜井駅を中心に住商のバランスの取れた都市機能の整備を図る。	466,663	区画整理課	・安城市の南部地域の拠点として、碧海桜井駅を中心とした整備事業の進捗状況はどうか。計画どおりか。（23年間の計画で12年を経過している。）	7	・特定地域への税金投入の意味が不明。 ・何故この事業も今もダラダラと市民の血税を垂れ流して続けているのか。全くの無駄、これ以上の無駄はない。即刻中止廃止停止を求める。事業仕分けのメインにすべき。
	6	13	滞納整理事業	市税の滞納者に対し、督促状・催告書の送付等による納付催告、財産の差押や裁判所に対する交付要求、執行停止等の滞納処分を堅実に実施するとともに、災害を受けた場合等の納税相談、納期限の緩和措置等により円滑な徴収業務の充実化を図ります。	110,708	納税課	市民の不公平感をなくすためにも収納率の関係を達成する必要があり、改善が必要ではないか。	6	・税収確保、平等徴収はとても大切。 ・強化してほしい。 ・早急に進めることにより、すっきりさせてもらいたい。 ・金額が高額
※	7	28	シルバー人材センター支援事業	シルバー人材センターが行う高年齢者就業機会確保事業に要する経費に対して補助金を交付する。	25,860	社会福祉課	・高齢者の増加に伴い、就業機会の確保は今後益々重要である。補助金の交付を含めて支援のあり方は適切か。 ・求める成果と実際の成果がマッチしているのだろうか。実際どれだけ高齢者が職を求め、どれだけに提供できているか。また、職務に就いた高齢者の満足度がどうか知りたい。	6	・センターで働く人が気持ちよく働くことができるかどうかは死活問題。 ・高齢者の増加に伴い有効な方法を考慮 ・縮小
	8	111	公園愛護会事業	公園管理の円滑化と環境美化を図り、あわせて公園愛護意識の高揚を図る団体に対し、行政として支援を行います。	13,876	公園緑地課	・行政が直営で行う理由がわかならい。「愛護会の設立⇒会員の公園保全に積極参加促す」というプロセスは遠まわしではないか。公園施設管理事業と内容がかぶるのでは。	6	・不要

※は、市選定事業の担当課です。

事業仕分け対象事業候補　市民投票結果集計表

資料3

	No.	委員会選定No.	事務事業名	事務事業の内容	総事業費（千円）	課名	委員選定理由	投票数	投票者意見
※	9	27	老人クラブ活動支援事業	・おおむね60歳以上の高齢者で構成する老人クラブが行う活動（会員の教養の向上、健康の増進、レクリエーション、地域社会との交流など）に要する経費を補助することで、高齢者の老後の生活を健全で豊かなものにし福祉の増進を図る。	23,057	社会福祉課	概ね60歳以上を年齢引き上げにし、経費削減へ。	5	・老人クラブに加入しない人が増えているのは、この事業が喜ばれていない証拠。別の切り口を考える必要がある。 ・縮小 ・社会福祉事業法に明記された制度とは言え、老人クラブの活動が個人の趣味嗜好を満足させる事柄に偏っているのはいかがなものか。公的資金を拠出させる以上、地域社会への何らかの貢献を意図した活動だけにお金を出し、それ以外は個人資金で賄うようにならないか ・会員増が急務ではあるが、活動内容・成果が「老人クラブ」以外の機関での対応と重複している点もあるため、費用の使い途の考慮が必要ではないか。
※	10	89	資源リサイクル事業	リサイクルステーション（市内6箇所）の維持管理と新規ステーションを設置します。 古紙・古着の資源ごみステーションでの収集を行ないます。 集団資源回収等の促進と報償金事業の実施します。	96,157	ごみ減量推進室	町内会スーパーなどで回収の充足により、市内6箇所は今でも必要なのか。本当に必要な所だけ残す。	5	・切るのではなく、お金を生むシステム必要。 ・リサイクルステーションで回収いただけて便利。これからも続けてほしい。 ・もう少し細かい分別が必要か。
	11	8	システム運用管理事業	利用者が、必要なときに必要な情報が取得できるように、システムの安定稼動のための維持管理を行う。	327,286	情報システム課	・内容が不明確であり、民間企業との比較も必要ではないか。（削減） ・システムの開発、運用、管理については、適正なコストの把握が難しい面があります。ベンダーとの再交渉によりコスト引き下げの余地はあると考えます。	4	・内部管理を徹底すればよい。 ・4、5でどちらかでできないか。 ・金額が高額な為
	12	18	交通安全広報活動推進事業	・春、夏、秋、年末の交通安全運動期間、死亡事故ゼロの日等による交通安全広報、啓発活動 ・新入学園児、新入学児童等に交通安全用品を配布 ・交通安全ポスター展の開催 ・セスナ機に空からの広報、啓発活動	19,777	市民安全課	・セスナ機による広報は、費用の割りに効果が上がっているのか。	4	・交通事故死亡者全国ワースト1を返上。 ・高齢者、小中学生への対策も必要だが、特に悪質な自転車運転をしている高校生に対しての記述が全くない。道路交通法の遵守の徹底をはかるべきである。事業内容の見直しが必要。

※は、市選定事業の担当課です。

事業仕分け対象事業候補　市民投票結果集計表

資料3

	No.	委員会選定No.	事務事業名	事務事業の内容	総事業費（千円）	課名	委員選定理由	投票数	投票者意見
※	13	24	福祉の拠点づくり事業	総合福祉センター・北部福祉センター・西部福祉センター・作野福祉センターの4箇所に加え、平成20年度には桜井福祉センター・中部福祉センターを開設し、安城市福祉事業団に管理運営を委託しました。社会福祉会館は安城市社会福祉協議会に管理運営を委託しました。平成21年度からは福祉事業団と社会福祉協議会の統合により、新社会福祉協議会による管理運営を行います。	396,328	社会福祉課	・地域福祉センター建設事業との違いが不明。統合も可能ではないか。 ・多額の事業費が使われており、コストについて再検討の必要があるのではないか。	4	・13と統合 ・市が必要不可欠な社会インフラといえない固定資産を保有するような形態ものには、基本的に市民税を使うべきではない。 民間での代替が不可能とは到底思えない。財政再建等のために事業縮小するときに、柔軟性が失われる。財政に余裕があるならば、市民税を減税するべきである。 ・箱物ばかり建てると維持、管理、継続費ばかりがかさむ。
	14	41	障害者通所支援事業	家庭での支援が困難な障害者が、施設に通所して、就労訓練や社会適応訓練を受けられるように援助します。	569,408	障害福祉課	障害者の自立支援に向けて、よりよい支援をするために、市、施設、学校、社会福祉協議会との連絡や調整は効率よくできているか。	4	・身近に障害者がいるので拡充してほしい。 ・是非もっと力を入れてほしい。 ・民間に広く開放する方向に進めたい。
※	15	62	健康診査事業	がん、心臓病、脳卒中等生活習慣病の早期発見、健康保持のため、高齢者の医療確保に関する法律、健康増進法等に基づき特定健康診査及び各種がん検診を実施します。対象者　特定健康診査：40歳以上の安城市国民健康保険加入者、後期高齢者健康診査：後期高齢者、人間ドック：20歳以上、市民健診：18歳以上、胃・大腸・肺・前立腺・乳がん検診、脳ドック：40歳以上、子宮がん検診：20歳以上、歯周疾患検診：40・45・50・55・60・65・70歳のみ	508,049	健康推進課		4	・「早期発見」促進は、大変ありがたいことではあるが、本来検診受診は、自身が行うもの。無料検診の対象年齢の見直しをしても良いと思う。
	16	94	道路施設維持管理事業	道路の利用者が、いつでも安全に安心して通行できるよう道路を維持管理する工事等を業者発注する。	302,366	維持管理課	・道路維持修繕直接施工事業と内容がかぶるのでは。	4	・道路維持修繕直接施工事業と同じ ・無駄が多いと思う。 ・縮小

※は、市選定事業の担当課です。

事業仕分け対象事業候補　市民投票結果集計表

資料3

No.	委員会選定No.	事務事業名	事務事業の内容	総事業費（千円）	課名	委員選定理由	投票数	投票者意見
17	106	公園整備事業	市民に潤いと憩いの場を提供する役割とともに、環境保全や防災、景観形成などの重要な役割を担う公園を計画的に整備します。 また、社会情勢の変化の中で、市民ニーズに応える公園整備が今まで以上に必要ですので、公園設計においては市民の意見を積極的に取り入れ、市民が愛着の持てる公園づくりを目指します。	189,158	公園緑地課	・緑化杜づくりにに賛成であるが、剪定を最小限、限定対象地のみとすべき ・公園トイレ改修事業、公園施設緑化事業、公園補修事業、公園施設管理事業は事業の効果が類似しているように思われる。統合が可能ではないか。	4	・公園の樹木を切りすぎている感じ。 ・拡充
18	172	文化財啓発事業	・文化財保護の普及・啓発を図るため、史跡めぐり、文化財ボランティアの育成、出前授業等を行います。・あおぞら歴史教室として市内・県内の史跡めぐりを年3回開催しています。	15,708	文化財課	・文化財調査事業と統合することで費用の低減（スケールメリット等）が図れると思われる。	4	・よく来館しているので興味がある。 ・特別に税金を使う必要があるのか。
19	5	行政改革事業	地方分権の流れの中で、より効率的、効果的な行政経営の実現に向けて、平成18年に策定した第4次行政改革大綱を推進するための実施計画である集中改革プランの進捗を管理します。さらに、業務の改善意識を高めるため、職員から改善提案を募集し、行政の合理化と市民サービスの向上を図ります。	12,143	経営管理課	計画であり進んでいない事業や中止の方針となった事業についての検討が必要。	3	・行政はいつも行革が少ない。
20	7	セキュリティ対策事業	・セキュリティ委員会の開催・セキュリティ監査の実施・物理的、技術的セキュリティ対策の実施・セキュリティ教育の実施・セキュリティ対策実施状況	13,399	情報システム課	・情報システム課関連の4事業を統合または、情報共有することで費用低減が図れるのでは。	3	・内部管理を徹底すればよい。 ・対策の進捗状況が不明。
21	9	システム開発事業	行政事務の簡素・効率化を図るため、業務の電子化を推進する。	132,939	情報システム課	・事業として4事業を統合または、情報共有することで費用低減が図れるのではないか。 ・システムの開発、運用、管理については、適正なコストの把握が難しい面があります。ベンダーとの再交渉によりコスト引き下げの余地はあるのではないか。	3	・4、5でどちらかでできないか。 ・金額が高額
22	16	防犯広報啓発推進事業	・独居高齢者への防犯ブザーの配布（平成7年度から実施） ・街頭啓発キャンペーンの実施 ・セスナ機による空からの広報活動	16,398	市民安全課	・セスナ機による広報は、費用の割りに効果が上がっているのか。	3	・治安悪化

※は、市選定事業の担当課です。

事業仕分け対象事業候補　市民投票結果集計表

資料3

	No.	委員会選定No.	事務事業名	事務事業の内容	総事業費（千円）	課名	委員選定理由	投票数	投票者意見
※	23	23	地域福祉計画推進事業	地域住民が地域福祉の推進の主役として、地域での福祉活動を充実しやすくするために、その推進役である地域の社会福祉協議会に地域福祉計画推進補助事業として補助金を支払っています。 また、地域住民に地域福祉計画を自分たちのものとして考えてもらうため、第1次地域福祉計画を策定後、町内会を始めとした福祉団体や民生委員、小中学校、福祉事業所などに呼びかけ、各団体ごとに実施する項目を3つずつ挙げてもらい、市の施策とあわせて実施計画を作り、地域福祉活動の推進を促しています。	60,196	社会福祉課	・安城市の孤独死0を目指し、民生児童委員始め、地域福祉委員会連携のもと事業の拡充を進めていただきたい。	3	・事業費が大きく、福祉協議会への委託後のチェック ・「計画」が具現化された事業に、費用を費やすべきでは。
※	24	25	地域福祉センター建設事業	地域における社会参加、生きがいづくりの拠点として安祥中学校区に福祉センターを整備します。 平成20年度には桜井福祉センター、中部福祉センターを開設し、市内6ヵ所となりました。今後は安祥中学校区、明祥中学校区に福祉センターを開設し、全中学校区に開設する予定です。	152,615	社会福祉課	・福祉の拠点づくり事業との違いが不明。統合も可能ではないか。	3	・12と統合 ・市が必要不可欠な社会インフラといえない固定資産を保有するような形態ものには、基本的に市民税を使うべきではない。 民間での代替が不可能とは到底思えない。財政再建等のために事業縮小するときに、柔軟性が失われる。財政に余裕があるならば、市民税を減税するべきである。
	25	53	保育園事業	仕事などの事情により家庭で保育が出来ない児童を預かるために設置した、公立保育所23園の運営管理をしています。	2,885,626	子ども課	待機児童を出さない努力はすばらしい。保育ニーズの多様化により、職員の力量向上が重要であるが、その対策は充分図られているか。	3	・子どもの未来のために、、また家庭を守るために必要。 ・保育所を増やして欲しい。
	26	75	企業経営改善相談事業	商工会議所が行う経営の相談、指導、診断や情報提供、研修会などの経営改善相談事業に対して補助を行い、個人商店などの経営改善を支援します。	10,677	商工課	・商工業資金融資事業と統合できないか。	3	・縮小
	27	77	商工業共同事業等補助事業	商工団体が行なう販売促進事業・施設整備事業等に対する補助を行っています。	53,002	商工課	・「商業の活性化」という求める成果に対し、「商店街で盛り上げていこうとする雰囲気が高まった」という実際の成果では不明確である。いわゆるPDCAサイクルの「計画」と「実行」だけがなされ、「結果の考察」が行われていないと感じる。	3	・どのような仕事か不明。必要があるのか。 ・一般市民にわかりにくい。

※は、市選定事業の担当課です。

事業仕分け対象事業候補　市民投票結果集計表

資料3

No.	委員会選定No.	事務事業名	事務事業の内容	総事業費（千円）	課名	委員選定理由	投票数	投票者意見
28	80	雇用対策定着事業	労働力の確保、雇用・就労の促進・定着支援を図るため、各種事業を行ないます。 ・愛知建連技能専門校（技能者養成）への支援（補助金の交付） ・安城市地域職業相談室への支援（臨時職員の配置） ・若年者就業支援（研修会の開催） ・雇用対策（企業と教育機関との意見交換会の開催）	72,601	商工課	・成果から就職の機会を与えられていることはわかるが、実際の進路成果をもう少し明確に示して欲しい。	3	
29	83	塵芥収集事業	日常生活から出るごみ（可燃・不燃・容器包装プラごみ・資源ごみ）を回収します。	600,797	環境保全課	・一般財源などの経費を更に減らすことは可能か検討の余地があるのではないか。 ・ごみ行政に対する理解・協力が地域町内会や組織レベルで得られたという成果に対して実績はほぼ横ばいになっている。資源再生化事業と一元化できるのでは。	3	・民間に委託する
30	92	自転車駐車場運営事業	環境にやさしいサイクルアンドライトとして、通勤者等の駅周辺を中心とした市営駐輪場の利用を推進するため、自転車駐車場の管理運営を行う。	20,224	維持管理課	・民間に任せてはどうか。	3	・もっと活用できる工夫が必要。 ・刈谷市内の駐輪場は無料なのに、安城は有料だった。無料にしてほしい。
31	97	歩道整備事業	歩道を整備する事業	48,167	土木課	・ 通学路整備事業との違いは対象（歩道か通学路か）だけであると思いますが、統合が可能ではないでしょうか。	3	・歩きやすくならないか。
32	98	通学路整備事業	通学路を整備する事業。	29,577	土木課	・ 通学路整備事業との違いは対象（歩道か通学路か）だけであると思うが、、統合が可能ではないか。 ・京都市内で起きた通学路での事故が安城市内で起きないような通学路整備を最優先課題に行っていただくために、事業費を拡充していただきたい。	3	・さらに取組拡充を。 ・交通事故対策、児童を守るために必要。

※は、市選定事業の担当課です。

事業仕分け対象事業候補　市民投票結果集計表

資料3

No.	委員会選定No.	事務事業名	事務事業の内容	総事業費（千円）	課名	委員選定理由	投票数	投票者意見
33	109	堀内公園管理事業	公園施設（大型遊具含む）の日常点検、運営・植栽の管理（剪定、薬剤防除、芝刈り等）等の堀内公園の管理を行います。	55,764	公園緑地課	・緑化杜づくりにに賛成であるが、剪定を最小限、限定対象地のみとすべき。	3	・公園を充実してほしい ・51、52の中にいれては。 ・堀内公園存続に対する市の税金導入は全く無駄。事業の即時廃止を求める。それができないのなら、民間企業に完全売却し、市の関わりを全てなくすべき。そうすれば、近隣の名鉄の駅を存続させる意味も無くなり、この面でも市の財政が助かる。
34	113	街路樹木管理事業	委託方式により、街路樹の適正かつ円滑な維持管理をしています。	79,138	公園緑地課	・緑化杜づくりにに賛成であるが、剪定を最小限、限定対象地のみとすべき。 ・2事業を統合することで費用低減（スケールメリット等）が図られると思われます。	3	・デンパークへ向かう道路の花の手入れをやりすぎている感じ。 ・落葉対策等の無駄が多い
35	152	給食用物資購入事業	安全・安心で良質な学校給食を安定的に提供するため、地場農産物の購入を含め毎月の給食物資検討会で検討、調整を図ります。	939,294	給食課	学校給食に地元農産物を積極的に取り入れることは、地産地消の意識を向上させている。しかし、現在約50%の購入率である。もっと増やせないか。また、放射能対策はどのようになっているか。	3	・家内が給食補助員のパートをしているので興味がある。 ・民間に委託する
36	38	障害者ホームヘルプ事業	【ホームヘルプ】在宅生活を送る障害者に対し、ホームヘルパーを派遣し、居宅介護(身体介護(入浴・排せつ・食事)、家事援助(調理・掃除))、重度訪問介護(長時間に渡る総合的な介護)、行動援護及び移動支援(外出の同行)等を行うサービスです。利用者は市からの支給決定を受け、サービスを利用します。市は事業者にサービス報酬(9割給付)を支払います。	142,154	障害福祉課	・多額の事業費が使われているが、利用時間数の目標が未達成である。	2	・失業者をもっと活用する。 ・是非もっと力を入れてほしい。
37	39	障害者ショートステイ事業	【ショートステイ事業】自宅で介護する人が病気の場合などに短期間、夜間も含め施設で、入浴、排せつ、食事の介護等を行うサービスです。 【日中一時支援事業】障害者の家族の就労支援及び障害者を日常的に介護している家族の一時的な休息を図ることを目的として、障害者の日中における活動の場を確保します。	73,496	障害福祉課	・家庭介護をする家族に対して一時の安らぎが必要と思われる。家庭介護が長引くと介護される人に暴力を振るうことになるぐらお家族が大変であるから、拡充をしていただきたい。	2	・是非もっと力を入れてほしい。

※は、市選定事業の担当課です。

事業仕分け対象事業候補　市民投票結果集計表

資料3

	No.	委員会選定No.	事務事業名	事務事業の内容	総事業費（千円）	課名	委員選定理由	投票数	投票者意見
	38	44	要介護認定事業	要介護認定申請者に対して、主治医に意見書を作成依頼するとともに、認定調査を行い、主治医意見書と認定調査結果をもとに、介護認定審査会において審査判定を行い、「要支援1・2」「要介護1～5」「非該当」に分けて認定をする。	89,036	介護保険課	・目標である30日以内の認定率が半数以下であり、方法の再検討が必要ではないか。	2	
※	39	52	児童センター事業	・来館者とのかかわり（子育ての相談等） ・定期講座の開催（囲碁・将棋教室、卓球教室） ・親子参加行事の開催（乳幼児の親子対象） ・小中学生対象の行事の開催	54,532	子育て支援課	・児童センター本来の目的を踏まえて、市民ニーズに的確に適合しているか。また、市民の現場での生の声をどのように取り入れているか。	2	・子どもがいるので興味がある。もっと拡充してほしい。 ・市が必要不可欠な社会インフラといえない固定資産を保有するような形態ものには、基本的に市民税を使うべきではない。 民間での代替が不可能とは到底思えない。財政再建等のために事業縮小するときに、柔軟性が失われる。財政に余裕があるならば、市民税を減税するべきである。
※	40	57	更生病院・八千代病院救急医療補助事業	市民の健康を守るとともに医療サービスの向上のため、第2次救急医療施設（八千代病院）と第3次救急医療施設（安城更生病院）の救急医療に対して補助を行います。	107,126	健康推進課	・安城更生病院は夜間救急患者のため、医師、看護士始めスタッフ12名程度を揃え市民の安心を確保している。災害時には2～3チーム確保できる用意がある。八千代病院も同様である。拡充を望む。	2	
※	41	64	健康知識普及事業	健康づくりに関する知識を広めるため、教室や講話を行い、また広報等で啓発します。 《実施事業》 親がお手本!ﾃﾞﾝﾀﾙ・ｹｱ教室、市民健康講座、食生活普及事業、肥満解消教室、自殺対策緊急強化基金事業(家族向けこころの相談や講演会他)、体力測定会、乳がん自己検査法指導、骨祖しょう症予防指導、まちかど講座(健康増進)、健康情報の提供、医療機関一覧	29,795	健康推進課	・実際の成果を見たときに事業の必要性が感じられない。 ・若年齢層＝64歳以下という区分けからしっかりと対象市民をカテゴライズできていないのではないか。	2	・費用対効果が不明 ・講座・講演会の主催を「市」以外にも、幼稚園・保育園、小中学校、高校などでも開催し、開催費用はPTA会費で賄う。親子参加型にすれば、二次作用も期待できるのでは、と思う。
	42	79	観光協会支援事業	安城市観光協会に補助金を交付します。観光資源を地域資源ととらえ、そこで暮らす市民がその魅力を理解し育てていくこと及び市外の方への情報発信を目的としてホームページの活用や観光案内パンフレットの充実など観光情報を提供します。	11,383	商工課	観光案内リーフレットの工夫（共同掲載）が求められる。南吉（安城・半田）、徳川家（豊田・岡崎・安城・幸田）、花・テーマパーク（関係市町）	2	・観光協会のHPアクセス数が増えたところで全く意味は無い。安城市内の観光施設なんてたかがしれているので、無理なPRは却って評判を落とすだけ。事業自体が無駄である。

※は、市選定事業の担当課です。

事業仕分け対象事業候補　市民投票結果集計表

資料3

No.	委員会選定No.	事務事業名	事務事業の内容	総事業費（千円）	課名	委員選定理由	投票数	投票者意見
43	84	資源再生化事業（中間処理等事業）	回収されたペットボトルや容器包装プラごみの資源化を行います。	81,311	環境保全課	・塵芥収集事業と一元化できないか。	2	・協働コラボできる。今何が必要か。 ・プラゴミ全量をリサイクルする必要があるかは疑問。一部を燃えるごみと一緒に燃料の補助として処分したほうがトータルコストは安くならないか。公的資金を拠出させる以上、地域社会への何らかの貢献を意図した活動だけにお金を出し、それ以外は個人資金で賄うようにならないか。
44	86	せん定枝リサイクルプラント事業	剪定した枝葉を処理し、堆肥を製造して市民に配布します。	58,028	環境保全課	市民生活に直接影響を及ぼさないと考えられる。（削減）	2	・リサイクル品の適正な処理がなされているか。
45	108	公共施設緑化事業	市内の公園、道路、河川をはじめ、公民館や学校などの公共施設や市有地を緑の基本計画に基づき積極的に緑化します。	10,662	公園緑地課	・緑化杜づくりにに賛成であるが、剪定を最小限、限定対象地のみとすべき。 ・公園トイレ改修事業、公園施設緑化事業、公園補修事業、公園施設管理事業は事業の効果が類似しているように思われる。統合が可能ではないか。	2	
46	110	公園補修事業	公園内にある施設等の改修・修繕をします。	56,583	公園緑地課	・公園トイレ改修事業、公園施設緑化事業、公園補修事業、公園施設管理事業は事業の効果が類似しているように思われます。統合が可能ではないでしょうか。	2	・52かどちらか一つでよいのでは。
47	112	公園施設管理事業	委託や直営により、公園内にある各施設の維持管理をしています。	251,857	公園緑地課	・公園トイレ改修事業、公園施設緑化事業、公園補修事業、公園施設管理事業は事業の効果が類似しているように思われます。統合が可能ではないか。 ・事業費の高額な支出がなされているが、減額の余地はないか。 ・公園愛護会事業と内容がかぶるのでは。	2	
48	114	樹林・樹木保全事業	保護樹木や樹林保全地区の緑の保護を図ります。	12,831	公園緑地課	・街路樹木管理事業と統合することで費用低減（スケールメリット等）が図られると思われます。	2	
※ 49	120	受益者負担金賦課徴収事業（公共・特環）	下水道を利用できる人とそうでない人の不公平を解消するために設けられた、建設費の一部を負担する受益者負担金を賦課・徴収する事務。	14,546	下水道管理課	・ 受益者負担金賦課徴収事業と賦課徴収する料金が違うのみで事業の内容は同じであると思われます。統合が可能ではないでしょうか。	2	・分ける必要があるのか。

※は、市選定事業の担当課です。

事業仕分け対象事業候補　市民投票結果集計表

資料3

	No.	委員会選定No.	事務事業名	事務事業の内容	総事業費（千円）	課名	委員選定理由	投票数	投票者意見
	50	129	配水管維持管理事業	常時水道施設の巡回点検に努めている中で、市民からの漏水発生の通報や調査依頼を受けた場合、直ちに急行し現地確認、調査を行い、必要に応じて修繕工事を実施し、水資源の有効利用及び安定供給を図ります。	68,058	水道工務課	・ 総事業費の7割を職員人件費が占めています。外部委託が可能ではないか。	2	
※	51	139	小学校施設修繕事業	雨漏り補修や破損した建具の修理など、小学校施設の修繕工事を実施します。	25,062	総務課	・ 中学校施設修繕事業と対象が違うだけで事業の内容は同じであると思われる。統合が可能ではないか。	2	
※	52	151	教育情報活用事業	①学識者や学校関係者からなるデータ審査委員会を開き、教育センターのホームページの内容が適切であるか、有益なものになっているかなどについて指摘してもらい、その意見を基に改善を図る。②新規購入教材などの情報を定期的に流すことで、教育活動に有効な情報を随時提供する。③安城市教育情報ネットやアンサーバーを活用して、情報の交換や共有化を図る。	25,281	学校教育課	・情報の活用、共有により、どのように教職員の多忙化解消が図れるのか不明です。（削減）	2	・市民に分りにくい。
	53	168	丈山苑管理事務事業	茶会3回970人コンサート5回827人落語会1回115人その他13回2，794人	32,695	文化財課	指定管理者制度の導入により、経費削減と市民サービスの向上の評価をどのようにし、また、どのように活かしているか。	2	・安城市民全体が受益者とは到底いえない。受益者がもっと費用負担すべきである。
	54	21	自主防災組織支援事業	自主防災組織に対し、自主防災組織運営費補助金、自主防災組織資機材整備事業補助金、地域防災マップ作成費補助金の支給及び自主防災訓練支援を行います。	23,457	防災危機管理課	30年以内に大地震予告の中で拡大の方向に見直すべきではないか。	1	・震災が近いといわれているので興味がある。
※	55	48	保育園整備事業	安全で快適な保育環境をつくるため、老朽化した保育園を整備します。	30,879	子育て支援課	幼稚園・小中学校はだいたい20年で大規模改修等が行われているが、保育園は、50年近く改修がなく、保育園も計画的に改修を行っていただきたい。	1	

※は、市選定事業の担当課です。

事業仕分け対象事業候補　市民投票結果集計表

資料3

	No.	委員会選定No.	事務事業名	事務事業の内容	総事業費（千円）	課名	委員選定理由	投票数	投票者意見
※	56	65	通所型訪問型介護予防事業	主に*特定高齢者を対象に要介護状態になることを防ぐことを通じて、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう通所型訪問型介護予防事業を実施し支援します。 ・通所型運動器機能向上(一部委託事業)…転ばぬ先の筋トレ教室・楽らく運動教室 ・通所型口腔機能向上…歯つらつ健口教室 ・通所型栄養改善…健康えーよう塾 ・訪問型…訪問健康指導	24,534	健康推進課	・予防・支援内容の類似もあり、横の連携を取り合っているか、又は統合の視点があっているか。	1	
※	57	66	地域介護予防活動支援事業	活動性の低下や転倒の危険性から「要支援・要介護状態」になることを予防するとともに、健康に対する意識の向上と正しい知識の普及を図るため、保健師・管理栄養士・歯科衛生士が健康講話や実技指導等を行います。	22,567	健康推進課	・健康知識普及事業にまとめられないか。 ・「成果の分析」からあまり効果的ではないと感じた。	1	・在宅介護の件をわかりやすくしてほしい。
	58	76	商工業資金融資事業	商業者の経営改善の促進や経営体質の強化を図ることを目的として、市内の金融機関に運用資金を預けることによる低金利の間接融資制度（商工業振興資金預託）、商工会議所の制度を利用した市内で創業する者への利子補給（チャレンジ融資利子補給制度）、県の信用保証協会を通じて金融機関から借入れをした際に発生する信用保証料に対する補助（信用保証料補助）等の支援制度により、事業資金の確保と創業支援を図ります。	324,786	商工課	・事業費は高額にのぼっているが、利用実績は低調であり、市で行うべき事業か、検討の余地がある。 ・経営改善と融資は密接に関わっており企業経営改善相談事業と統合できるのではないかと感じた。これらを統合することで、中小法人の経営基盤の改善がよりスムースに行われるのではないか。	1	・分ける必要があるのか。
	59	85	リサイクルプラザ施設管理事業	市民が排出又は持ち込んだごみを受け入れ、適正に処理できるように施設を維持管理・運営します。	358,909	環境保全課	施設運転管理、機械類保守点検整備、施設保守管理等の民間企業への委託業務は効率よく行われているか。	1	・プラゴミの全量をリサイクルする必要があるのか疑問。一部を燃えるゴミと一緒に燃焼の補助として処分したほうが、トータルで安くないですか？コストに見合わないリサイクルはエコでなくエゴ？　少なくとも条件わけした試算を開示してほしい。

※は、市選定事業の担当課です。

事業仕分け対象事業候補　市民投票結果集計表

資料3

	No.	委員会選定No.	事務事業名	事務事業の内容	総事業費（千円）	課名	委員選定理由	投票数	投票者意見
※	60	119	下水道使用料賦課徴収業務（公共・特環）	下水道使用者から汚水量に応じて、2ヶ月ごとに使用料を賦課・徴収する事務。	46,608	下水道管理課	・ 受益者負担金賦課徴収事業と賦課徴収する料金が違うのみで事業の内容は同じであると思われます。統合が可能ではないか。	1	・分ける必要があるのか。
	61	125	下水道台帳整備事業	下水道の管理を適正に行うために下水道台帳の調製と保管をします。	10,044	下水道建設課	・事業として4事業を統合または、情報共有することで費用低減が図れるのではないか。	1	・分ける必要があるのか。
※	62	136	中学校施設管理事業	学校施設の維持管理や夜間警備等を実施し快適な教育環境を整えます。	48,087	総務課	・ 小学校施設管理事業と対象が違うだけで事業の内容は同じであると思われる。統合が可能ではないか。	1	・業者に支払う経費の見直し。
※	63	141	中学校施設修繕事業	雨漏り補修や破損した建具の修理など、中学校施設の修繕工事を実施します。	24,362	総務課	・ 中学校施設修繕事業と対象が違うだけで事業の内容は同じであると思われる。統合が可能ではないか。	1	
※	64	145	部活動支援事業・小中学生各種大会派遣事業	部活動の振興を図るため、部活動指導者に対する報酬及び各競技団体への登録費用を補助します。また、各種大会への児童生徒の派遣費用も補助し、学校教育における文化体育活動を奨励するとともに、保護者負担の軽減を図ります。	11,472	学校教育課	・クラブチーム等では生徒の家庭の事情（お金や両親の忙しさ）が影響を受けやすいので、できれば学校の取組として行いたい。世帯数が増加している安城市だからこそ力を入れて欲しい。	1	・拡充
※	65	163	屋外体育施設管理事業	市民が利用する施設（総合運動公園・和泉グラウンド）の整備及び管理する	297,586	スポーツ課	・事業費が多額であるが、利用者数が目標を大きく下回っている点について運営等の方法が必要と思う。	1	・学校の授業でも使用し、運動能力向上につながったらいい。
	66	173	文化財調査事業	歴史的価値のある建造物調査、寺社等文化財の悉皆調査、県から依頼される文化財調査など、市内に所在する文化財の実態を調査します。史跡整備についての調査を行います。取り壊されてしまう建造物について、記録保存を行います。	16,304	文化財課	・文化財啓発事業と統合することで費用の低減（スケールメリット等）が図れると思われる。	1	・文化財教育への活用

※は、市選定事業の担当課です。

事業仕分け対象事業候補　市民投票結果集計表

資料3

No.	委員会選定No.	事務事業名	事務事業の内容	総事業費（千円）	課名	委員選定理由	投票数	投票者意見
67	6	ICT推進事業	情報システム継続体制の整備、情報システム調達の適正化、情報システムの標準化・共同化の推進、情報セキュリティ対策の推進、全庁型地理情報システム（GIS）の活用の推進、CALS／ECの推進、情報システムによる業務の効率化の推進、ICTによる利便性の高い市民サービス、ICTによる情報提供の拡充 ICTによる市政への市民参加の推進、行政手続の電子化の推進、新たな通信技術の活用研究、新たな電子技術の活用研究、デジタルデバイド対策の推進	23,005	情報システム課	・実施したICT推進施策の割合は61%で目標に達成したと言えるのか。また、他のシステム運用管理事業やシステム開発事業やセキュリティ対策事業等と統廃合の余地はないのか。 ・事業として4事業を統合または、情報共有することで費用低減が図れるのでは。 ・今後想定される震災等で被害状況、また震災により火災の発生状況等を携帯電話のカメラ等で被害状況をダイレクトに対策本部で送信できるようなシステムの開発はできないか。		
※ 68	69	乳幼児健診事業	幼児期において身体発達及び精神発達の面から最も重要な時期である1歳半・3歳児の全てに対して、医師・歯科医師等による総合的健康診査を実施してその結果に基づき、指導・相談を行います。また、乳児期における4か月健診、医療機関での1歳未満の無料健診2回により、異常の早期発見に努め、乳児の健康の維持増進を図ります。身体発達及び精神発達について保護者とともに確認し、また、保護者の育児上の困難について不安を軽減解消できるよう支援することで虐待予防に努めます。	66,007	健康推進課	・健診の受診率の更なる向上を検討していただきたい。		
69	93	道路維持修繕直接施工事業	道路の利用者が、いつでも安全に安心して通行できるよう、道路を維持管理する作業を直営で行う。	86,581	維持管理課	・道路施設維持管理事業との違いは直営か委託かの違いであると思われるが、委託でタイムリーに工事できる方法はないのか。また、そもそもタイムリーに行わなければならない工事とはどのようなものがあるか。 ・事業内容から民間に委託することでコストカットできるのではないか。道路施設維持管理事業と内容がかぶるのでは。		
70	96	生活道路新設改良事業	生活の道路拡幅工事の設計を実施する。 生活道路整備のための用地買収を実施する。 生活道路の道路拡幅工事を実施する。	423,881	土木課	・市街化区域は区画整理等で充実しているが、調整区域（農村地帯）は整備の差があるように思われるため拡充が必要。		

※は、市選定事業の担当課です。

事業仕分け対象事業候補　市民投票結果集計表

資料3

	No.	委員会選定No.	事務事業名	事務事業の内容	総事業費（千円）	課名	委員選定理由	投票数	投票者意見
	71	130	原水及び県水受水事業	・水資源の安定確保を図るために、取水計画を策定し、自己水源（井戸水）の取水量及び県水受水（県より浄水を購入）量の管理をする事業で、施設（井戸や県水受水池等）整備や、維持管理を行っています。	1,160,257	水道工務課	・当事業から事業番号131（浄水及び配水事業）、事業番号132（施設保守管理事業）までは、同施設の一連の事業であると思われる。統合が可能ではないか。		
	72	131	浄水及び配水事業	・受水した県水（浄水）と、浄水処理（水をきれいにする）を実施した自己水源を合わせて一旦、配水池に貯留した後、配水ポンプにて市内へ給水する事業で、計画的な設備更新や故障等の迅速な修繕、整備を行い、需要に応じた水道水を安定供給します。	205,566	水道工務課	・当事業から事業番号131（浄水及び配水事業）、施設保守管理事業までは、同施設の一連の事業であると思われます。統合が可能ではないでしょうか。		
	73	132	施設保守管理事業	・市民が良質な水の供給を受けることができるように浄・配水場施設の機器保守点検、施設清掃等管理を行います。	25,236	水道工務課	・当事業から事業番号131（浄水及び配水事業）、事業番号132（施設保守管理事業）までは、同施設の一連の事業であると思われます。統合が可能ではないか。		
※	74	134	小学校施設管理事業	学校施設の維持管理や夜間警備等を実施し快適な教育環境を整えます。	147,401	総務課	・中学校施設管理事業と対象が違うだけで事業の内容は同じであると思われます。統合が可能ではないでしょうか。		
※	75	140	小学校施設改修事業	学校要望に基づき現地調査を行い、小学校施設の改修工事を実施します。また、改修工事を実施するにあたり、設計を必要とする工事については、設計業務を実施します。	92,790	総務課	・対象が違うだけで事業の内容は同じであると思われる。統合が可能ではないか。		
※	76	142	中学校施設改修事業	学校要望に基づき現地調査を行い、中学校施設の改修工事を実施します。また、改修工事を実施するにあたり、設計が必要な工事については、設計業務を実施します。	41,449	総務課	・対象が違うだけで事業の内容は同じであると思われる。統合が可能ではないか。		
	76	76	76				75	199	

※は、市選定事業の担当課です。